

ご協力いただいたみなさまのご紹介

アンバサダー専用ロゴ

“一般アンバサダー”として広報面で活躍いただきました!

今年度は、低炭素杯2018アンバサダーのルー大柴さんに加え「低炭素杯」を草の根的に広めることを目的に、これまで低炭素杯に出場したことのある方の中から、「低炭素杯“愛”」にあふれる方を一般アンバサダーとして認定することを試行的に実施しております。その第一弾として今年は3名の方にご就任頂きました!



● 元 栃木農業高等学校 教諭 小森 芳次 様

低炭素杯は、世代を超え地域性豊かなイノベーション発掘の場であると思います。栃木農業高校は、低炭素杯2012、2013の大会にて2年連続環境大臣賞グランプリを受賞させていただきました。高校生が地域復興と環境保全を掲げ「農村が元気になれば日本の原風景がよみがえる」を合言葉に取り組みました。生徒にとって全国大会で得たかけがえのない経験は、最高の思い出となり、卒業後社会人として「生きる力」を育む原動力となっています。



● 一般社団法人 FMおとくに 専務理事 木本 直樹 様

言葉巧みに校長を煽り? 児童と保護者、先生方を巻き込んで出場してきた低炭素杯。毎日の発表練習や大会当日とかなりのご負担でしたが、小学校は校長が2代変わっても学校行事に私を呼んでくれ、低炭素杯がきっかけで関りが深まったことに感謝しています。一昨年市役所を早期退職し、現在は地域のラジオ局を立ち上げるべく日々奔走中。ラジオ局が開局したら、地域で頑張る人たち、そして子どもたちの声を届けたいと思っています。



● 佐賀市上下水道局 下水プロジェクト推進部長 橋本 翼 様

佐賀市では、暮らしから出る「下水」をきちんと処理するとともに、下水を資源として捉えて発電や農業等に利用し、低炭素な下水処理の実現に努めています。この度は、前回のグランプリ受賞を切欠に、アンバサダーに選んでいただきました。低炭素杯を通じ、環境改善への熱い思いを持った皆様と繋がれて、今回も多くの知恵を学ばせていただきました。皆様から頂いた刺激も活かし、今後とも低炭素な循環型の取組みを推進します。

“協力団体”として広報面・当日のスタッフとしてもご協力いただきました!

こどもエコクラブ全国事務局 (公益財団法人 日本環境協会)

こどもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブで、現在登録クラブ数が2,013件程あります。

今年度「ジュニア・キッズ部門」の新設により、子供たちの応募を促進するべく、こどもエコクラブに協力いただき、登録クラブにエントリー募集の声かけをしていただきました。結果、ファイナリストの中で4団体がこどもエコクラブの関係／登録団体でした!



自動車教習所 ファインモータースクール

ファインモータースクールは、低炭素杯で何度も出場/受賞している常連団体で、免許取得の際に自然とエコドライブが身につく「楽エコ教習」を基軸に、小学校でのエコドライブ寸劇や、自治体職員向けのエコドライブ指導者養成など、多様な取組を通じて「エコドライブ」の普及を行う自動車教習所です。今年度は当日に、受付スタッフとして手伝っていただき、事務局と一緒に汗を流していただきました!



わ〜いわ〜い

